

2 開口部への取付け

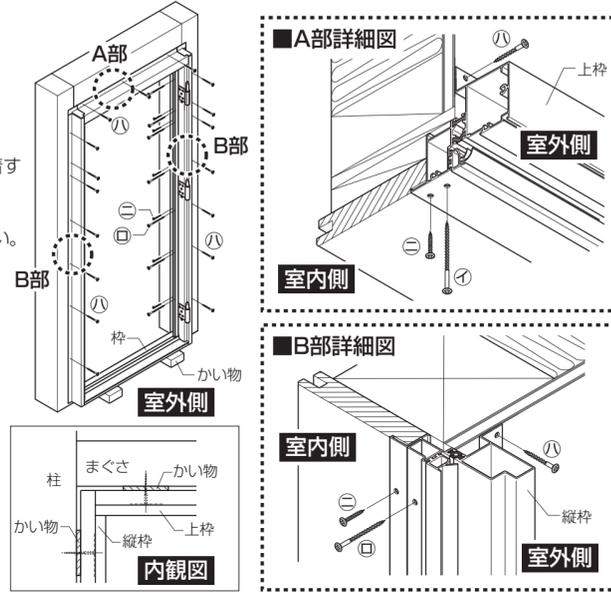
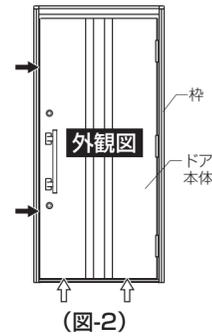
- ①吊元側縦枠を①のねじで開口部に固定します。
 - ②同じく②のねじで吊元側縦枠を固定します。
 - ③柱に③木ねじの掛かりが確保されていることを確認してください。
 - ④ドア本体を枠に吊込んでください。
- ※軸が長い、上側の丁番から先に合わせると吊込みやすくなります。
- ⑤上下(⇄)および左右(⇄)のすき間を均等にし、戸当り気密材がドア本体と密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。(図-2)
 - ⑥枠と躯体のすき間には、かい物を当てて、枠を本固定してください。
- ※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付け、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて固定してください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。

■非木造納まりの場合

- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。



※躯体に固定する際に枠が下記の寸法になっているか確認して取付けてください。

●枠のWたいこ・つづみ	●枠の対角	●枠のHたいこ・つづみ	●枠のねじれ	●枠のたおれ	●枠のそり
L2-L1 A・B 3 1.5	C 3	L1-L2 D L2-L1 E 3 2	F 2	G B1:2 B2:2	H 内:1 外:1

■建付け調整

- お願い
- ※電動ドライバーを使用しないでください。

※ドア本体を吊込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは、「参考納まり図」を参照してください。)

1 左右方向のすき間の調整

- ※スペーサーはあらかじめドア本体に取付けてあります。吊元側縦枠
- ①スペーサー取付けねじを外します。
 - ②丁番取付けねじ(5本)をゆるめます。
 - ③スペーサーを引抜いて外します。
 - ④丁番取付けねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊元側へ寄ります。
- ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

▲注意

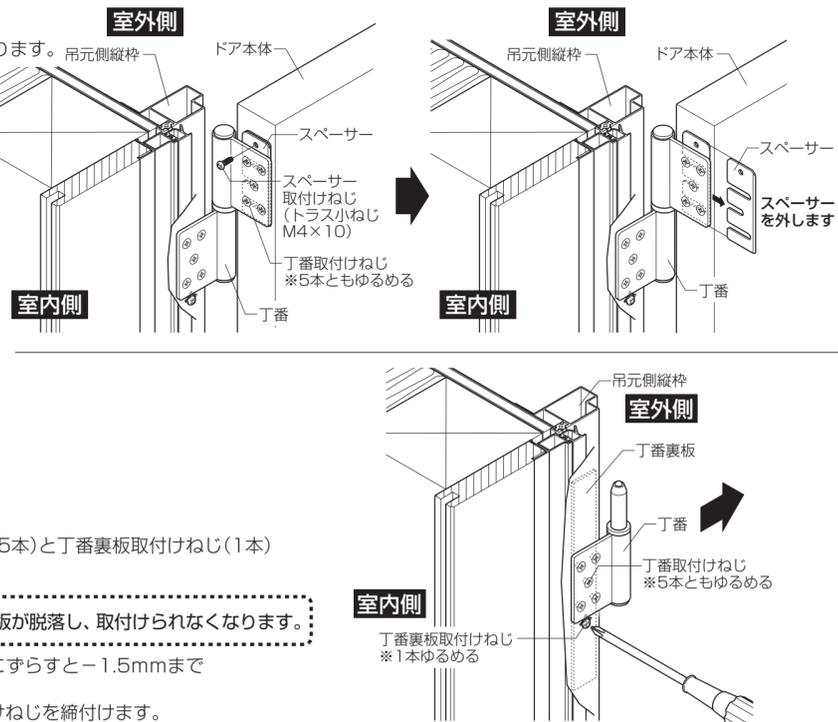
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5N \pm 0.5m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ })

2 前後(室内・室外側)方向の調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(5本)と丁番裏板取付けねじ(1本)をゆるめます。

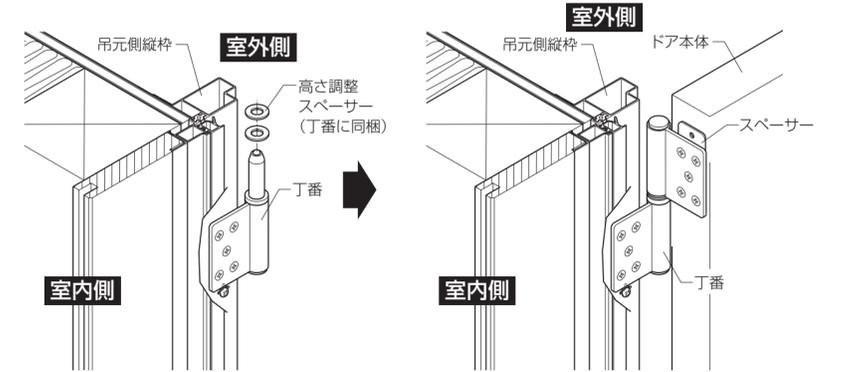
- お願い
- ※取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にすると-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと、丁番裏板取付けねじを締付けます。



3 上下方向のすき間の調整

- ドア本体を枠から外し、丁番に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。



4 ラッチ受け・ストライクの調整

1 ラッチ受けの調整(図-3、図-4)

※ドアクローザーでラッチが1個しかかからない、あるいは2個ともかからない場合、ガタが大きい場合にラッチ受けを調整してください。

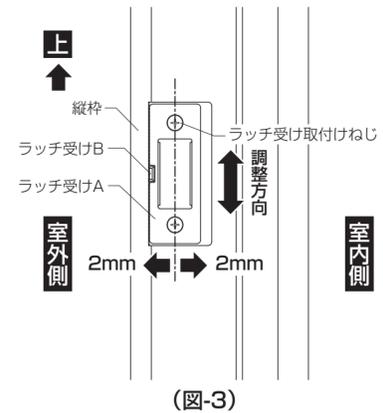
- ①ラッチ受けの取付けねじを2本とも回しゆるめます。
- ②ラッチ受けの位置を合わせてからねじを締直します。

2 ストライクの調整(図-5)

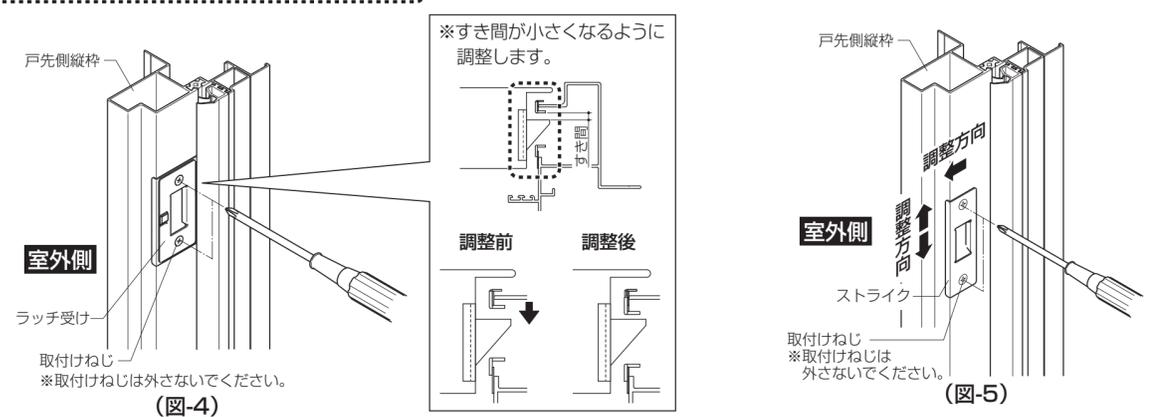
※ラッチ受け調整後、どうしても鍵が掛からない場合に実施してください。

- ①ストライクの取付けねじを2本ともゆるめます。
- ②ストライクの位置を合わせてからねじを締直します。

- お願い
- ※ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。
- ※ラッチ受け・ストライクの調整はドアクローザーの調整と合わせて行ってください。
- ※下側のラッチは上側のラッチよりガタを大きめに持たせてください。
- ※ラッチを調整する際は、片方のラッチをテープなどで固定する対応をしてください。



(図-3)



(図-4)

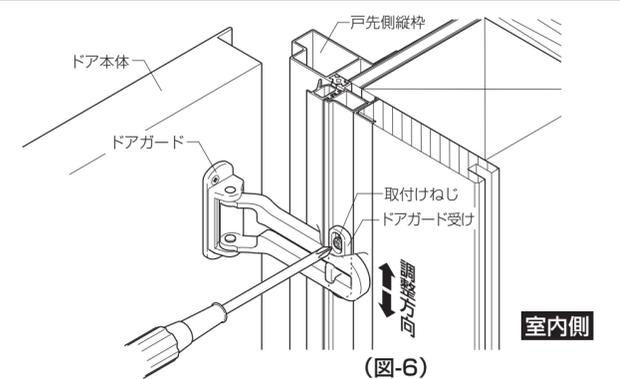
(図-5)

5 ドアガードの調整

※ドアガードアームはあらかじめドア本体の加工穴に合わせ、指定のねじで取付けてください。

※ドアガードがドアガード受けに掛からない場合は、ドアガード受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

- ドアガードアームがスムーズに操作できるか、確認してから本固定してください。(図-6)



(図-6)